

ナ会 テ協 メン 東京フォーラムに延べ1600人 鉄筋防せい焦点に開催



徳納剛会長

コンクリートメンテナ
ンス協会（会長・徳納剛
福徳技研社長）は5月
23、24の2日間、都内で
「コンクリート構造物の
補修・補強に関するフォー
ラム2019」鉄筋防
錆の観点からコンクリー

ト構造物の健康寿命を考
える」を開催した。発
注者や施工者、材料メー
カーなどから延べ約16
00人が参加。初日と2
日目それぞれ7件ずつ講
演を実施し、コンクリー
ト構造物の長寿命化のた
めの維持管理の在り方な
どの研さんを積んだ。

初日の冒頭、徳納会長
が主催者を代表してあい
さつ。「予防保全と事後
保全の双方の観点に立
ち、鉄筋コンクリート構
造物の健康寿命を延ばす
ための維持管理の考え方
に関する基本概念や最新
の調査診断と適切な維持
管理技術を紹介する。」と
くに鉄筋防せいに焦点を
当て、電気化学的防食工
法と亜硝酸リチウムの定
量的防せい工法を中心と
して事例を交えて解説す
る」とフォーラムの概要
を説明し、「わが国のコ
ンクリート構造物の中に

は劣化が進み、ただちに
対策が必要なものも少な
くない。それらに対して
適切な調査・診断・補修
を行うことは維持管理に
かかわる技術者の使命で
ある。本フォーラムがコ
ンクリート構造物の維持
管理業務に携わる技術者
の皆様にとって光明にな
る内容を提供できること
を祈念している」と述べ
た。

初日の7件の講演のう
ち、十河茂幸近未来コン
クリート研究会代表は
「長寿命化のための点検
要領」について解説。同
研究会とメンテナンス協
会が作成した、主に市町
村が管理する小規模橋梁
を対象とする点検要領の
概要などを説明した。宮
川豊章京都大学特任教授
は丈夫で美しく長持ちす
るための「コンクリート
構造物の補修・補強につ
いて」解説した。

同フォーラムは5月13
日の山口会場を皮切りに
9月下旬まで全国15会場
で順次開催中。今後の開
催予定は以下の通りで、
詳細はメンテナンス協会
ホームページ（<http://www.j-cma.jp/>）
参照。